

# 令和2年産 米集荷経過報告

## 1等米比率 57.9%

(令和2年10月9日(金)現在)

### 1. 検査概況 (カントリーエレベーター集荷分は含まれておりません)

単位：俵 (60kg)

種類	1等	2等	3等	規格外	合計
魚沼産コシヒカリ	32,778.0	22,627.5	998.5	751.5	57,155.5
一般地区コシヒカリ	-	28.0	25.5	-	53.5
こしいぶき	3,058.0	1,352.5	104.0	73.5	4,588.0
その他うるち	1,373.5	43.5	142.0	126.0	1,685.0
もち米	336.0	415.0	163.5	96.0	1,010.5
酒米	1,366.0	1,315.0	4.0	-	2,685.0
加工用米	-	137.0	-	-	137.0
輸出用米	1,999.0	1,183.0	116.5	-	3,298.5
学校給食米	126.0	147.0	-	-	273.0
合計	41,036.5	27,248.5	1,554.0	1,047.0	70,886.0
等級比率	57.9%	38.4%	2.2%	1.5%	100.0%
格落原因	①除青未熟粒 ②心白粒				

### 作柄・品質概況

5月までの気温が平年よりも低く推移したため、田植え後の分けつは抑えられていましたが、5月下旬から6月上旬が高温多照で推移したことにより、莖数は確保され、概ね順調に生育しました。

コシヒカリの6月の生育状況は、草丈・莖数・葉色は指標値並みで生育は平年より1日程度早まっていますが、6月中旬から7月下旬まで長梅雨の影響により低温・少照が続き、出穂盛期は平年より5日ほど遅い8月6日(木)となりました。

農林水産省が公表している9月15日(火)現在での作況指数は107ですが、その後の天候不順や倒伏状況等により、平年並みの集荷量になる見込みです。

品質面では、早期倒伏や登熟後半には高温による障害を受け、検査始期から背白粒や基部未熟粒、終期にかけては除青未熟粒や心白粒、刈遅れによる胴割粒の混入が見受けられ、1等米比率は10月9日(金)現在57.9%、コシヒカリでは57.4%という結果となっています。

### 2. 集荷概況

単位：俵 (60kg)

種類	予約数量	集荷実績	集荷率
J A 米 うるち	105,659.5	66,707.9	63.1%
J A 米 もち	1,019.5	751.0	73.7%
一般米 うるち	2,065.0	2,008.7	97.3%
一般米 もち	-	163.5	-
加工米 もち	137.0	137.0	100.0%
輸出用米	7,218.0	3,298.5	45.7%
学校給食米	672.0	273.0	40.6%
規格外米	-	1,047.0	-
合計	116,771.0	74,386.6	63.7%

### 3. カントリーエレベーター受入実績

(生糶・トン)

第1カントリー(小栗田)	第2カントリー(山谷)	片貝カントリー	合計
1,262.6	1,307.1	1,546.3	4,116.0